



宮司プレス 第二百十一号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和六年 三月十九日

◇宮司の柴田です。春光次第に地に満ちて、日ましに暖かさを覚えるようになりました。

しかしながら、明日は、春分の日なのですが、寒の戻りが、ありそうです。中国東北部や朝鮮半島北部などで顕著にみられるのですが、冬

寒い日が三日ほど続いたのち、暖かい日が四日ほど続く気候が繰り返されることを、

「三寒四温」といいますが、まさにそのような天候であります。

◇さて、東日本大震災の発生から十二年を迎えた過日の三月十一日に、裏面に写真を掲載しましたように、復興祈願祭を斎行しました。今

回は、浄衣という装束を正式な着装の仕方、いわゆる正装にて御奉仕を申し上げました。

単に奴袴という身づくろいです。奴袴とは、指貫の袴のことで、裾に紐を通してくくるもので、括緒の袴のことです。前上がりとなる

よう、つまり、前を短く後ろを長く、括ります。この復興祈願祭への私のせめてもの、心意

肝煎りであります。

◇東日本大震災は、大地震、大津波、原発事故

と二つの災害がING、同時進行した世界で

初めての複合災害でした。「神も仏もない災

害」、「シビア アクシデント」、「戦禍にも劣ら

ない天災」、「一瞬にして歴史を作り、一瞬に

して歴史を消した災害」、「筆舌に尽しがたい

大災害」といわれる由縁でもあります。災害

には、「記録」として残る災害と、いまも「記憶」

に残っている災害があるそうです。まさに、

東日本大震災は、言うまでもなく、後者の「記

憶」に残っている災害です。しかも、今を生

かされている私共が、けっして忘れてはならな

い災害の一つです。その東日本大震災以降に、

首都直下地震や南海トラフ巨大地震のリスク

ばかりが叫ばれる中で発生したのが、年初の能

登半島地震です。ちなみに、震度七クラスの

地震は、阪神淡路大震災から能登半島地震の二

十九年間に七回発生しています、四年に一回

の間隔で発生していることとなります。今後

も震度七クラス以上の地震が、日本のどこかで、

私共の都合に関係なく、二十四時間、いつ発生

するかわかりません。まさに、地震大国日本の

宿命なのではないでしょうか。日本人は、

常に地震リスクと隣り合わせであるということ

とを理解しておかなければなりません。災害

を、「非日常」だとするならば、その災害から大

切な命を守るためには、「平時」から、身も心も

備えなければなりません。その対策や備えで

ある「防災」を片時もおろそかにしない、「防災」

を「日常」にすべきことを肝に命じなければな

らないと思います。

◇日本画家の堀文子さんは、「日本は災害の

多い国ですが、それが人を思いやる心や惻隠

の情、無常観といった美意識を養ってきた。

苦難を乗り越えた先には、次の発展がある。」

と述べられています。ちなみに、「惻隠の

情」とは、人をいたわしく思う心やあわれみ

の気持ちのことです。私は宮司プレス

既刊号に幾度となく詳述していますが、

前述した「三寒四温」を「三感四恩」に書き換

え、敬神生活のスローガンにしています。今

ある命に、「感謝」をし、身のまわりにおこる何

気ない出来事にも、心から「感動」し、心にし

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

みこませ、寄り添って生きていく、「涵養」、感謝・感動・涵養が、「三感」という生き方です。そして、その生き方には、目に見えない神様大 自然、産んでくれた親、御先祖様、生かされて いる社会、導いてくれたその道の先達、師匠で ある師、「神様」「親先祖」「社会」「師」この四 つの恩に報いる事が出来るように、努力する事 が大切です。この「三感四恩」という心がけ を大切に、堀さんのおっしゃる「惻隠の情」を 培いながら、共々に手を携えて苦難を乗り越え 共存共栄してまいらなければなりません。「防災」を、「忘災」にしてはならないのです。御自愛ください。

◇三月祭典行事（予定も含む）

▼月次祭

◆本宮 *三月一日、十五日

◆貴布祢神社 三月一日

▼横浜DNAベイスターズ下関ファン集いの会必勝祈願祭

*三月二日



▼氏青青神合同冬禊練成会参拝

*三月十日



▼東日本大震災復興祈願祭

*三月十一日



▼恵比須神社例祭

*三月十五日

▼春季祖霊祭

*三月二十日

※家の宗旨が神道の方の合同の祖霊祭

▼朝粥会

*二月二十一日

◇三月の宮司動静（予定も含む）

▼神社関係団体

◆早起会参拝 *三月一日

◆維蘇志会勉強例会 *三月十五日

◆神道会総会 *三月二十日

◆神道家の方へ祖霊祭記念の粗品を配布

*三月二十一日

▼神社庁関係

◆日本会議山口研修会

*三月二日

◆山口県神社庁教化委員会

*三月八日

◆山口県神社庁祈年祭ならびに神宮大麻頒布終了祭 *三月八日

◆山口県神社庁神宮大麻増頒布推進委員会

*三月八日

◆山口県神社庁時局研修会

*三月十四日

◆下関支部神宮大麻頒布終了祭

*三月二十二日

◆下関支部研修会

*三月二十二日

◆山口県神社庁神職養成講習会講師

打合せ *三月二十六日

◆山口県神社庁祭式研修会

*三月二十六日～二十七日

◆山口県神社庁講演講師養成研修会

*三月二十七日

▼美祢社会復帰促進センター教誨師活動

◆集合教誨女子

*三月二十五日

◆自治会、学校関係、その他

◆迫町自治会役員会

*三月十三日

◆下関三井化学地主組合会議

*三月二十三日

◆迫町自治会組合長会議

*三月二十三日

◆山口県神社庁時局研修会

*三月十四日

◆下関支部神宮大麻頒布終了祭

*三月二十二日

◆下関支部研修会

*三月二十二日